

市民の目線で運行する市バスについて議会質問

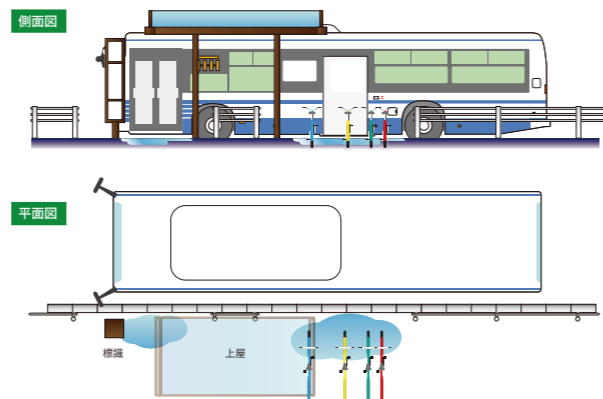
高齢者・障害者が安心して利用できるバスの運行について質問！

今後、高齢者は増え、市バスはますます多くの方に利用されると思いますが、高齢者・障害者が安心して利用できる運行となるようにバス運転手に対してどのような指導を行っていくのか交通局長にお伺いいたします。

高齢者・障害者が安心して利用できるバスの運行についての回答

バス停においては、お客様に安心して乗降いただけるよう、バスをできる限り歩道に寄せるなど、運転手に対し職場内研修等で繰り返し指導していますが、十分に歩道に寄せきれず、ご不便をおかけしている場合などがあることは認識しています。

バス停での乗降に限らず、安心してバスをご利用いただけるよう、今後につきましては、引き続き職場内研修等で指導していくとともに、運転手全員に対して、営業所長等が営業中のバスに同乗し、日常の運転、接客状況を把握し、その結果に基づいて、個別に、きめ細やかな指導を行います。との回答を頂きました。



職員教育について質問！

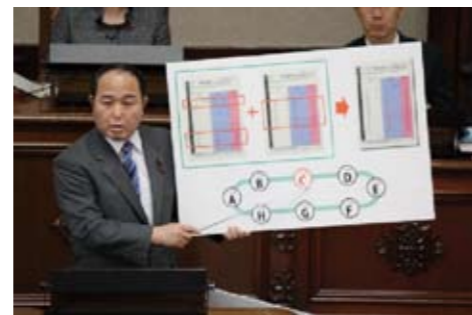
利用者の目線に立って行動ができる職員にするためにどのような教育を行っていくのか、交通局長にお伺いいたします。

職員教育についての回答

市バス事業は経営健全化計画に取り組んでいるところであり、お客様の立場に立ってサービスを提供し、一人でも多くのお客様にご利用いただけるよう、職員一丸となって取り組んでいかなければならない状況にあります。

しかしながら、まだまだ職員の意識改革が徹底できておらず、お客様目線に立ったサービスの提供が不十分であると考えております。

今後とも、市民の移動手段としての役割を担っていくためには、バス事業が置かれている厳しい状況などについて、職場研修や個別指導、現場職員と幹部職員との意見交換会などあらゆる機会を通じて職員の意識改革を図り、お客様目線に立ったサービスの提供を徹底していきます。との回答を頂きました。



公明党 名古屋市議員

～あなたの気持ちになって考えます！～

2012 3月号

福田せいじ ネット通信



福田せいじネット通信 2012年3月号 発行責任者 福田せいじ 発行日 2012年3月15日

ご挨拶

東日本大震災より一年が経過いたしました。改めて犠牲となられた方々のご冥福をお祈りし、ご遺族の皆さまに心から哀悼の意を表します。また、地震、津波、原発事故によって帰る家を失い、今なお避難生活を余儀なくされている被災者の皆さまに対し、心からお見舞いを申し上げます。

被災地の復興、各地の防災・減災力の向上を、強力に推し進めながら、日本の再建に力を注いで参ります。公明党は、2012年が「人間の復興」に向けて本格的な幕開けの年となるよう、被災地の再生、日本再建へ総力をあげて闘い抜いてまいります。今後とも何卒宜しくお願い致します。

名古屋市議員 福田 誠治



H23年度3月議会質問より

中川運河の津波対策用水門の設置と展望台の併設について提案しました！

私は、閘門は水位の調整をするもので、津波という大きな力に耐える施設ではないため津波専用の水門が是非必要と考えます。また津波の際は、多くの大型漂流物も流されるため、これらが門扉に当たり、最悪の場合門扉の機能を失うことも考える必要があると思います。



静岡県沼津市は、想定東海地震発生からわずか5分で津波が到達すると予想されています。そのため沼津市には、津波から街を守る大型水門「びゅうお」が設置されています。

この水門は、水門形式では日本で震度6弱以上を検知すると、400トンもある鋼鉄製の水門が自動的に閉鎖し、沼津市民9000人を津波災害から守ります。また、この水門の上部は展望台になっており、防災のPRにも一役かっています。

万一、津波で中川口閘門が壊れれば、間違いなく沼津市よりはるかに多くの市民が津波被害を受けることになるものと考えます。私は、中川運河の津波対策として、中川口閘門の前面に津波専用の水門を設置し、あわせて展望台を併設して市民に安全をPRすべきと考えますが、河村市長のお考えをお伺いします。



河村市長からの答弁は次ページ

市民相談 随時受付しております。
南区法律相談 要予約 ■毎週第1・第3木曜日(19時～21時)
毎月第4金曜日は金山総合駅でも法律相談を行っています。お気軽にご相談ください

福田せいじ事務所
〒457-0866 名古屋市南区三條 2-6-8
TEL052-693-6922 FAX052-693-6921
http://www.s-fukuta.jp/